

平成19年（2007年）9月14日発行



学校法人 日本工業大学創立100周年

百年記念館（LCセンター）がいよいよ10/13にこけら落としとなり、その後さまざまな記念行事が開催される。ぜひ、参加、観覧をお願いしたい。左は無限を表す「メビウスの環」をモチーフとした100周年記念シンボルマークである。

厳粛に記念式典

帝国ホテル「富士の間」午後3時開式

学園創立100周年を祝う

6月29日（金）盛大に開催された記念式典

今年は、本学園にとって、創立100周年を迎える記念すべき年である。数年前から各種プロジェクトチームを組織、準備を重ねてきたが、そのハイライトとも言える記念式典・祝賀会が、学園創立記念日である6月29日（金）、帝国ホテル（東京都千代田区）で1000人を超える出席者のもと開催された。

当日は、天候にも恵まれ、者を迎えて開式。バイオリ出席者は2時から続々と、チェロ、ピアノによる式典会場である「富士の間」ピアノ三重奏で「学園讃歌」前に参集。懐かしい顔を見つめた人達が、あちこちでトライトに照らされて、大話の輪をつくり、和やかなと校旗が入場し、舞台中央式典は、500人の列席にセッティングされた。

大川理事長式辞
開会の辞の後、大川陽康理事長は、式辞のなかで、1907（明治40）年に中堅技術者の養成を目的として、東京市小石川区小日向水道端町に創設された本学園の前身である「東京工科大学」の誕生、その後の

学校の誕生、その後の度々の火災と復興、戦後の再建など、本学園の苦難の歴史とそれを乗り越えてきたたくましさをつづった。その後、学園創立60周年を機に設立した日本工業大学、そして、100周年事業として平成17年度から開設された神田キャンパスの専門職大学院、専門学校等に触れ、この1世紀の間に本学園を支えてきた多くの方々に深い感謝の意を表した。また、本学園からは約8万人が巣立っているが、「これまでの成果に甘んずることなく、時代に先んじて挑戦を推進していく必要がある。100年へ向けての更なる推進を、力強く宣言した。

祝辞
続いて、来賓として伊吹文明文部科学大臣（磯田文雄高等教育局私学部長が代理）、元文部大臣・有馬朗人氏の祝辞があった。磯田私学部長は、次の様に語った。1907年（明治40）年、貴学は夜間の工業教育機関として発足して以来、中堅技術者育成に貢献していることに敬意を表する。21世紀を迎え我が国が国際社会のなかで豊かで活力ある国として持続的に発展していくには、優れた技術者の育成と独創的研究を推進していく必要がある。そのなかで貴学は時代に即した挑戦を続けている。今後も「実工学」というこれまでに培われてこられた実績をもとに、工業教育の新たなモデルとなるよう希望し、ご発展を祈念している。

元文部大臣・有馬朗人氏からは、次の様に祝辞をいただいた。100年前、1907年と言え、日露戦争（1904～1905年）の直後。戦艦三笠の上で東郷将軍が双眼鏡を首から下げていた有名な絵をご存知だと思えば、この戦艦三笠はイギリス製であるし、双眼鏡はドイツのカルツアイス製であった。

明治政府は、欧米諸国に追いつくべく1870（明治3）年には、官営工業の中核として工部省を設け、近代工業の育成に着手しており、1872（明治5）年には、工務省内に工部寮（後の東京大学工学部）を設けるなど、技術者育成にも力を注いだ。1881（明治14）年には東京職工学校（現在の東京工業大学）と、坊ちゃんで有名な東京物理講習所（現在の東京理科大学）が開校されている。貴学の前身である東京工科大学は開設当初から本物に触れて実物をつくってみたいというプラクティックな学校であった。日本は1914～18（大正3～7）年の第一次大戦後、工業立国となる。第二次大戦後の高度成長を支えたのは、工業高校の存在が大きい。1967（昭和42）年、所得倍増が実現するとい背景のなかで、全日本の工業高校からの要請を受け、日本工業大学が開校されたのである。本物に触れて、本物をつくってみると、閉式となった。

学長謝辞

最後に学長・柳澤澤は次の様に謝辞を述べた。思い起こせば20年前、この場所で80周年式典が行われ、100年に向けて、学園の発展と教育の充実に努力することを誓った。関係する皆様のご支援をいただき、今日の学園の隆盛を築くことができた。100年後の学園が更に更に飛躍していくこと、その礎となる努力を力、精進することを誓い、皆様の益々のご発展を祈って謝辞とする。以上の謝辞をもって、閉式となった。



学校法人 日本工業大学創立百周年記念式典



①校旗入場 ②校旗を舞台上にセット ③式典の様子 ④大川理事長式辞 ⑤文部科学省高等教育局私学部長・磯田文雄氏祝辞 ⑥元文部大臣・有馬朗人氏祝辞 ⑦来賓および法人役員等 ⑧壇上（右から）大川理事長、柳澤学長、大森校長 ⑨「富士の間」の様子 ⑩会場風景 ⑪ピアノ三重奏の演奏 ⑫海外からの来賓

学園創立100周年

華やかに開催される記念行事



①「百年記念館」外観(平成19年6月) ②起工式(平成18年3月17日) ③基礎工事(平成18年7月) ④鉄骨建方(平成18年9月)
⑤外壁ガラス工事(平成19年3月)

学園創立100周年記念事業である図書館・情報複合施設「百年記念館」(地上9階、地下1階)の建設は、昨年3月17日の起工式以来、営々と工事が進められてきたが、この9月初めに無事完成した。およそ1年5ヶ月の工期であった。

9月10日からは、旧図書館から、図書の引越し作業が行われている。

「百年記念館」は、大学の新しいランドマークとしてユニークな外観が話題となっているが、9月29日(土)の竣工式に続いて、10月13日(土)には「百年記念館オープン記念講演」が開催され、いよいよ移働を始めることになる。

その後1週間は、下記のように百年記念館のマルチメディア教室を会場とし、1週間にわたってオープニング映画祭(学生が選んだ映画鑑賞会)や学生パフォーマンス(学生による演奏・演劇鑑賞会)が繰り広げられ、20日(土)の論文コンテスト、シンボルマークコンテストの表彰式で締めくくられる。この学生を主体としたイベントを契機に、百年記念館を訪れ、新しい知の拠点として、積極的な活用をしてほしい。

学園創立100周年記念事業である図書館・情報複合施設「百年記念館」(地上9階、地下1階)の建設は、昨年3月17日の起工式以来、営々と工事が進められてきたが、この9月初めに無事完成した。およそ1年5ヶ月の工期であった。

9月10日からは、旧図書館から、図書の引越し作業が行われている。

「百年記念館」は、大学の新しいランドマークとしてユニークな外観が話題となっているが、9月29日(土)の竣工式に続いて、10月13日(土)には「百年記念館オープン記念講演」が開催され、いよいよ移働を始めることになる。

その後1週間は、下記のように百年記念館のマルチメディア教室を会場とし、1週間にわたってオープニング映画祭(学生が選んだ映画鑑賞会)や学生パフォーマンス(学生による演奏・演劇鑑賞会)が繰り広げられ、20日(土)の論文コンテスト、シンボルマークコンテストの表彰式で締めくくられる。この学生を主体としたイベントを契機に、百年記念館を訪れ、新しい知の拠点として、積極的な活用をしてほしい。

新ランドマーク「百年記念館」

オープンに向かって着々と進行中

学園創立100周年を記念し、さまざまな記念行事が開催されたので、ご紹介する。

学園創立100周年記念コンサート 「ハーブと室内楽の夕べ」



演奏後、花束贈呈

日本工業大学主催、宮代町教育委員会、久喜市教育委員会の後援、(株)サン精密化工研究所の協賛を得て、6月9日(土) 本学学生会館ホールで開催。地元市民の皆さんへの感謝を込めて、会場300席のうち、280名を招待した。

出演はNHK交響楽団所属の演奏家を中心に7名。軽妙な話術で楽器の説明や演奏曲目に関するエピソードを交え、2時間にわたり9曲が演奏され、大好評を博した。

9/1(土) 第1回 日本工業大学マイクロロボットコンテスト 高校生大会



9月1日(土)の10時半〜16時、埼玉県教育委員会、(社)全国工業高等学校

ベスト32に入り、大会第2次予選を戦う高校生

校長協会、精密工学会マイクロ/ナノシステム研究専門委員会の後援を得て、本学主催のマイクロロボットコンテストを開催した。

本コンテストは、1インチ(2.54cm)角のロボットが、所定のコースを自動的に走行し、時間を競うもの。走行競技用グラウンドはA2サイズ(約40cm×60cm)の黒いケント紙で、そこに描かれた5mm幅の白い線上路をロボットに追跡させる。わずかに1インチ角のロボット内にCPUやバッテリー

を搭載しなければならぬ。本コンテストへの参加を促すためマイクロロボットキットの無料配布や、工業高校の先生や生徒を対象に必要な基礎技術等を身につける講習会・工作教室などを開催したこともあり、当日は工業高校を中心に200台近いマイクロロボットがエントリー。参加人数は300人近くにのぼり、非常に盛況であった。なお、本学の担当窓口は、工業教育研究所・原田教授、機械工学科・中里准教授。

9/8(土)~9/9(日) 付属中学・高校・大学主催 ミニ鉄道フェスティバル



同フェスティバルのポスター

9月8日(土)~9月9日(日)の2日にわたって、ミニ鉄道フェスティバルを開催した。初日は、午前10時に開会。10時半からの運転時間には、観客も乗車し、ミニ鉄道を楽しんだ。その後、森博嗣(もりひろし)氏の講演(定員300名)も開催された。二日目は、午前10時に運転を開始、午後2時の閉会式をはさんで3時のラストランまで、ミニ鉄道を満喫した。

ドイツ、台湾、カナダなど海外からの友情参加もあり、参加台数は2日間で延べ100台にのぼり、来場者は、ミニ鉄道愛好家、地元市民など、2日間で延べ3000人にも及んだ。

今後の学園創立100周年記念行事

■百年記念館オープニング映画祭 ～学生が選んだ映画鑑賞会～

百年記念館の150名収容のマルチメディア教室で150インチのスクリーンを使って劇場感覚で名画を鑑賞する。

【上映映画】

①在籍する留学生の母国の文化を紹介するものとして、韓国、タイ、ベトナム等のVTR(それぞれ15分～30分程度)と②学生の選んだ劇場映画を2本、および③アジア映画(中国を予定中)1本を予定している。

【日時・放映内容】

・日時：10月15日(月)～17日(水)18：30～2時間程度
・内容：各国文化紹介VTRは、全ての開催日に実施。その他のプログラムは、15日と17日に学生の選んだ映画、16日にアジア映画を予定している。

【抽選会】

・抽選番号を印刷した映画鑑賞チケットを配布し、映画鑑賞後に、景品の当る抽選会を実施する。

■百年記念館オープニング学生パフォーマンス ～学生による演奏・演劇鑑賞会～

10月15日(月)から19日(金)の1週間、昼休み時間を利用し、マルチメディア教室で学生パフォーマンスを上演する。

【実施内容】

・吹奏楽団による演奏発表：アンサンブル形式で5～6曲を演奏
・留学生による演劇等発表：1日に3種類の演目を上演
①ミャンマーの留学生による人形劇 ②中国留学生によるモンゴルの民族舞踊 ③バングラディッシュの留学生による民謡

【日時・上演内容】

・日時：10月15日(月)～19日(金)の昼休み12：30～13：10
・15日(月)・17日(水)・19日(金)の3日間
吹奏楽団による演奏(20～30分程度)
・16日(火)・18日(木)の2日間 *2日とも同じ内容で上演
留学生によるパフォーマンス(30分程度)

【参加の特典】

・参加者には軽い昼食を配付する予定。

■論文コンテスト・シンボルマークコンテスト

既にご案内の様に、学生が参加する100周年記念行事として「論文コンテスト」「シンボルマークコンテスト」を下記テーマで実施している。提出期限は9月28日(金)。まだ間に合うので奮って応募してほしい。応募要領等の詳細は、本学ウェブページを確認のこと。審査結果の発表は10月20日(土)に百年記念館で行う。

●論文コンテスト 募集テーマ

①科学技術と日本工業大学の将来
②私が考える日本工業大学及び自分自身の役割

●シンボルマークコンテスト 募集テーマ

①ゴミ関係(ゴミのポイ捨て禁止等)
②タバコ関係(禁煙、喫煙マナー遵守等)
③自転車関係(ルールやマナーの遵守)

■10/13(土) 百年記念館オープン記念講演

・第一部 記念講演 教育ジャーナリスト 山岸駿介氏
「大学のエクセレンスー大学教育に求められるもの」
・第二部 トークセッション
「大学がかわるー日本工業大学の挑戦」
・設計者による施設案内

10/13(土)13時から、百年記念館オープン講演が開催される。第1部は教育ジャーナリスト・山岸駿介氏による記念講演、第2部はトークセッションで、その後、設計者(小川次郎准教授)による施設見学が予定されている。なお、パネル展示「百年記念館ができるまで」が10月1日(月)から20日(土)まで開催される。

日時：10月13日(土)13：00～15：30

会場：百年記念館 1階マルチメディア教室およびカフェ棟
講演者：山岸駿介(やまぎし しゅんすけ)氏プロフィール
1935年 東京生まれ。1958年 新潟大学文学部法律学科卒業。1970年 新聞連載「明日の日本海」で菊池寛賞受賞。朝日新聞編集委員、大学教育学会理事、多摩大学教授等を歴任。現在、教育ジャーナリストとして高等教育問題に取り組んでいる。

■百年記念館イベントスケジュール

10月	13(土)	14(日)	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)	19(金)	20(土)
	●		●	●	●		●	●
	百年記念館 オープン記念講演			映画祭				表彰式
					学生パフォーマンス(昼休み)			

特色G.P. 工房教育の成果報告

第16回教育改革シンポジウム

工房教育の公開成果報告会が、6月14日(木)、情報工学系実験棟5階会議室において、教職員・学生109名が参加して開かれた。夕方5時から開始されたこともあり、学生や事務系職員も多数参加した。

「工房教育プログラムの成果発表と学生の声」と題した今回の報告会では、15工房の平成18年度活動について、工房活動に参加している学生が作品を持参し、実際に動かして見せるなど、これまでの教育改革シンポジウムとはひと味違う学生中心のユニークな2時間半であった。

「カレッジマイスター プライマリー工房」

ものづくり入門

自転車の修理方法、三極モーターの製作とおしり身近な道具の使い方を習得(46名)。さらに、「やじろべえ」や木製椅子などの製作に挑戦(38名)。ものづくりの楽しさに触れたことを、4人の学生が発言した。



発表を待つロボット創造工房の学生たち

「カレッジマイスター エクセレント工房」

電子創造 電子ブロックによるラジオ製作。さらに、回路シミュレータを用いた増幅回路の設計・製作について報告(72名)。

「カレッジマイスター エクセレント工房」

機械加工 1年次から3年次までの各製作目標をもとに、ミニ旋盤の部品製作から組立・完成までを体験し、本格的な加工技術を習得した(7名)。発表した学生は、「常力」にやり遂げる

ロボット創造 比較的小型軽量の二足歩行ロボットを製作し(3名)、ROBONET大会に出場。技術的に高いとの評価(デジタルリンク賞)を得て、その成果の一部を本会場でも実演。マイコン 回路シミュレーションソフトによる解析を踏まえ、トラジャ製作。各自が考案した作品について、レタソフト

航空機復元 航空機復元の部品製作と古典機模型の製作を体験した(12名)。日野式二号機の復元模型を近日中に工業技術博物館に展示する予定との報告があった。

「ジャパンオープン2006」のヒューマノイドリーグ競技に参加(5名)。また、2008年の競技会参加を目指してヒューマノイドサッカーロボット3号機を設計・製作している。並行して自主開発サーボモーター搭載のレスキューロボット4号機を計画中。

伸び伸びと発表する学生の姿には、工房教育プログラムの意図する「学ぶ喜びを伝える」という果実がみえた。質問に立った酒井財務部長は「本日の説明には迫力があり、学生の堂々とした発表には驚いた」、吉見学生支援課長は「学生たちの情熱ある話を、学外の求人担当者にも聞いてもらいたい」とそれぞれ感

「現場での構築には、シミュレーションを取り入れる方がよい」など、工房に参加した学生からの積極的な提案があった。

福祉情報機器製作 視覚障害者用のオセロゲーム装置の製作を試みた(9名)。プッシュ型ソレノイドやタッチスイッチを設計し、動作確認した上で、プロトタイプを2種製作。

ReboCupチャレンジ 「ジャパンオープン2006」のヒューマノイドリーグ競技に参加(5名)。また、2008年の競技会参加を目指してヒューマノイドサッカーロボット3号機を設計・製作している。並行して自主開発サーボモーター搭載のレスキューロボット4号機を計画中。

伸び伸びと発表する学生の姿には、工房教育プログラムの意図する「学ぶ喜びを伝える」という果実がみえた。質問に立った酒井財務部長は「本日の説明には迫力があり、学生の堂々とした発表には驚いた」、吉見学生支援課長は「学生たちの情熱ある話を、学外の求人担当者にも聞いてもらいたい」とそれぞれ感

「現場での構築には、シミュレーションを取り入れる方がよい」など、工房に参加した学生からの積極的な提案があった。

福祉情報機器製作 視覚障害者用のオセロゲーム装置の製作を試みた(9名)。プッシュ型ソレノイドやタッチスイッチを設計し、動作確認した上で、プロトタイプを2種製作。

ReboCupチャレンジ 「ジャパンオープン2006」のヒューマノイドリーグ競技に参加(5名)。また、2008年の競技会参加を目指してヒューマノイドサッカーロボット3号機を設計・製作している。並行して自主開発サーボモーター搭載のレスキューロボット4号機を計画中。

伸び伸びと発表する学生の姿には、工房教育プログラムの意図する「学ぶ喜びを伝える」という果実がみえた。質問に立った酒井財務部長は「本日の説明には迫力があり、学生の堂々とした発表には驚いた」、吉見学生支援課長は「学生たちの情熱ある話を、学外の求人担当者にも聞いてもらいたい」とそれぞれ感

「現場での構築には、シミュレーションを取り入れる方がよい」など、工房に参加した学生からの積極的な提案があった。

福祉情報機器製作 視覚障害者用のオセロゲーム装置の製作を試みた(9名)。プッシュ型ソレノイドやタッチスイッチを設計し、動作確認した上で、プロトタイプを2種製作。

ReboCupチャレンジ 「ジャパンオープン2006」のヒューマノイドリーグ競技に参加(5名)。また、2008年の競技会参加を目指してヒューマノイドサッカーロボット3号機を設計・製作している。並行して自主開発サーボモーター搭載のレスキューロボット4号機を計画中。

サン精密化工研究所の寄付講座 「NCものづくり工房」秋学期開講

受講者募集中

工房責任者・システム工学科教授・鈴木清



新設の「NCものづくり工房」講義室



リニア駆動ワイヤ放電加工機



サン精密化工研究所 会長・鷲尾政男氏

精密プラスチック部品の金型設計・製作、射出成形に卓越した独自の技術を持つサン精密化工研究所(埼玉県久喜市、代表取締役会長・鷲尾政男氏)の助成を受け、本学としては初めての寄付講座カレッジマイスター・エクセレント「NCものづくり工房」が秋学期から開講する。工房責任者は、システム工学科・鈴木清教授。

サン精密化工研究所は、デジタルカメラ、携帯電話等の精密プラスチック部品を供給している。主要取引先はソニー、キャノン、シヤープなどであるが、最大の取引先はソニーで、同社の製品の6割がソニーのプラスチック部品である。同社は、昭和38年に現会

長・鷲尾氏が東京・板橋で創業、事業拡大に伴い昭和45年に久喜市に本社・工場を移転した。その後、事業拡大を続け、現在、資本金8100万円、従業員139名。 本学の教授陣とも、20年以上にわたる交流があり、同社に勤務している本学出身者も多い。こうした関係から、本寄付講座が実現したものである。

当面は秋学期からシステム工学科1年生10名前後を対象に「NCものづくり工房I」を開講する。平成20年度春学期には2年生を対象に「同工房II」、秋学期には「同工房III」、平成21年度・春学期には3年生を対象に「同工房IV」を順次開講していく。また、平成20



発表する野口准教授



研究室を案内する竹内教授

7月13日(金)産学官連携セミナーin日本工業大学が本学学生会館で開催された。主催は埼玉県産業技術総合センター。日本工業大学産学連携企業教育センターが共催し、川口商工会議所、埼玉りそな銀行、(財)埼玉りそな産業協力財団、武蔵野銀行、埼玉県信用金庫、コロボ産学官埼玉支部、埼玉県産学官交流ブラザの7企業が後援。これまで、産

学連携セミナーは本学内で実施されてきたが、産学官での開催は初の試みである。開会挨拶を原利次副学長が行い、産学連携の取り組みを産学連携企業教育センター長上原健一教授より説明した。続いて、機械工学科の竹内貞雄教授による「ダイヤモンド等超硬質膜の形成技術と応用例」、野口裕之准教授による「多様なマイクロ成型技術と実用化事例」と題した講演が行われた。参加者から、盛んに質問が寄せられ、産学連携企業教育センター「TEL」0480-33-7522 E-mail: sangaku@nii.ac.jp

高さがうかがえた。その後、研究室見学を行い終了となった。 参加者は、49名で関東が中心であるが、静岡県、岡山県と遠方からも参加者があった。 産学連携企業教育センターでは、今後9月から来年度1月まで毎月、産学連携セミナーを予定しているの、参加御希望の方は次にお問い合わせを。 産学連携企業教育センター 「TEL」0480-33-7522 E-mail: sangaku@nii.ac.jp

7/13(金)

産学官連携セミナー

in 日本工業大学

伸び伸びと発表する学生の姿には、工房教育プログラムの意図する「学ぶ喜びを伝える」という果実がみえた。質問に立った酒井財務部長は「本日の説明には迫力があり、学生の堂々とした発表には驚いた」、吉見学生支援課長は「学生たちの情熱ある話を、学外の求人担当者にも聞いてもらいたい」とそれぞれ感

第2回 ビジネスプランコンテスト 8/3(金) 受賞者決定

第2回ビジネスプランコンテスト 参加者リスト					
	合計	1年	2年	3年	4年
建築	73件		25件	16件	32件
情報	16件		1件	3件	12件
電気	15件		4件	6件	5件
機械	43件		22件		21件
システム	45件			27件	18件
その他	1件				
総計	193件		52件	52件	88件

日本工業大学 第2回ビジネスプランコンテスト 最終審査結果 2007年8月7日

受付番号	学籍番号	学科	申請者			プラン名	備考
			代表	共同申請者	その他の共同申請者		
7064	1031453	M4	山田 裕也	山田 敏之	張健・ジョウ育竹	オーダーメイド感覚健康サンダル	優秀賞 (センター長賞)
7034	1034414	S4	藤田 慶太			学内施設を生かした請負型の工業製品製造サービス	優秀賞
7095	1043154	A4	小倉 拓馬	篠原 充		R-Rフリーングサービス	優秀賞
7028	1044243	S4	進藤 恵介			作曲支援ソフトの販売	優秀賞 (学長賞)
7055	1045444	C4	森田 正樹	志村 北斗		データベース自動設計ソフトウェアの開発・販売及びコンサルティング	優秀賞
7182	1053114	A3	飯野 裕司			東京自転車レンタルビジネス	優秀賞
7160	1053127	A3	植田 恵理			切り取り線付 海苔	優秀賞
7041	1063148	A2	岡田 尚久			田舎にホームステイ「農業を知ろう」	優秀賞 (特別賞)
7002	1063163	A2	加藤 輝			「密地スポーフルジョーランド」	優秀賞
7137	1063357	A2	萩原 美佳			駅で手軽にできるネイルケアカーシェアリングのプランニング及び仲介サービス	優秀賞
7078	1041138	M4	内山 大基	宇野 達巳		高性能栽培プラントのレンタル、自作野菜の販売ネットワークの提供	奨励賞
7168	1053125	A3	伊藤 陽平			チケットプレス	奨励賞
7111	1053321	A3	高橋 亮太			モスキートトーンを活用したビジネス	奨励賞
7190	1054154	S3	金沢 年郎			簡易操作/頂上でも作れる登山食	奨励賞
7174	1061335	M2	高橋 佑次			日本工業大学設計事務所	奨励賞
7060	1063128	A2	姓名 聖二				

産学連携企業教育センター

第2回ビジネスプランコンテストが実施され、7月14日(土)締め切りで、193件283名からの応募があった。昨年度の第1回ビジネスプランコンテストの3倍の応募があり、学生の関心が高まり喜ばしい事である。

7月18日(水)〜7月23日(月)に掛けて書類審査が行われ、厳正な審査の結果30件の一次審査通過者が決まった。

松製作所、カッター刃で有

詳細は、本学ウェブペ

ジをご覧いただきたい。

名なオンラインワン企業、協和ブレード製作所などの見学研修が実施される。

決定され8月2日(木)と3日(金)に情報工学系実験棟5階会議室においてプレゼンテーションが実施され、学長賞・産学連携起業教育センター賞・優秀賞・奨励賞が決定された。

なお、優秀賞受賞者には、副賞として「国内企業ものつくりとベンチャー視察研修の旅」が9月20日(木)〜23日(日)に本田技研浜製作所、カッター刃で有

これは、学生、一般、企業の方等、誰でも聴講できるのでは非で来場を。

詳細は、本学ウェブペ

ジをご覧いただきたい。

名なオンラインワン企業、協和ブレード製作所などの見学研修が実施される。

9/8開催のオープンキャンパスは 大好評！

8月と9月は国内のほぼすべての大学・大学院では約2ヶ月間の夏季休暇の時期である。しかし、社会人門職大学院では、他の専門職大学院とも異なり、1年を通して春夏秋冬4学期となっており、多くの企業が休みとなる旧盆時期の約10日間を除いて開校し、現在は夏学期の授業が行われている。

しかも、夏学期の授業の場合は、平日夜は2コマ、土曜日は3コマの集中講義であるため、春学期の週1コマずつの授業に比べて格段に進む速度が早い。しかし、第3期生37名は、全員そのスピードにも夏の暑さにも負けず、勤務を続けるとともに授業に休まず出席



ミニ庭園が見違えるようにきれいになった屋上等を利したり、キャンパス外にかけたたりして、飲み物を

片手に、年齢、経歴、業種等が多種多様な院生間、さらには教員との交流も図られているようである。1期、2期の修了生によれば、このような交流が授業内容と同様に実務に役立っているということがあるので、大いに交流を深めてもらいたいと思

参加者から出された入試方式や受験資格、勤務と履修の両立法、特定課題研究のテーマ選びと指導方法等に関する質問にも丁寧に答えることがで

専門職大学院オープンキャンパス

2007	■説明会 ■模擬授業 ■パネルディスカッション ■キャンパスツアー 等を予定
11/10(土)	参加ご希望の方は 事前にお申し込みください お申し込み先 日本工業大学 専門職大学院 TEL 03-3511-7591 FAX 03-3511-7594 E-mail: mot@nit.ac.jp
2008	
1/12(土) 2/9(土)	
※各日とも13:00開始	

国際交流

今年は学園創立100周年でもあり、海外との交流も盛んに行われた。

中国科技大学から学生34名が建築学科に研修合宿

7月2日(月)から11日(水)にかけて、本学の提携大学である中国科技大学(台湾)のインテリア科の教員4名と学生34名が来学した。国際交流の一環として、建築学科の教員による台湾の学生の作品講評が行われ、本学の学生も参加した。また、日光の歴史的建造物の見学を行い、都内の現代建築の見学では、本学の学生が案内し、交流を深めることができた。

留学生交流会を開催

7月12日(木)12時40分から学友会館で、「留学生交流会」が開催された。本学で学ぶ留学生同士の親睦を深めてもらうと、学生支



7月13日(金)にクウェート大学の学生9名と教員1名が来学した。研究室訪問では、大学院生が英語を駆使して必死に説明すると、クウェートの学生たちは熱心

クウェートから大学生9名が来訪

7月13日(金)にクウェート大学の学生9名と教員1名が来学した。研究室訪問では、大学院生が英語を駆使して必死に説明すると、クウェートの学生たちは熱心

宮代町で日独交流

日本スポーツ少年団とドイツの同様の組織ドイツ・スポーツ・ユースは、毎年100人規模で青少年団員の交流を行っている。今年、宮代町スポーツ少年団で、7月25日(水)から8月4日(土)までの11日

き、また個別相談にも応じたため、非常に好評であった。なお、本大学院のオープンキャンパスは本年度あと3回開催する予定であり、第2回以降の日程は別掲の通りである。次回以降も、関心のある多くの方々に参加して頂けること、そして来年度の4期生への多数の応募につながることを大いに期待している。

(専任教授 松野建一)

学部入試日程表

出願方式	日程				
	エントリー期間(AOエントリー入試)	出願期間	試験/面接	合格発表日	入学手続締切日
専門高校入試(A工業科)		11/1(木)~11/6(火)	11/14(水)~11/17(土)のうち1日	11/10(土)	第1回目11/22(木) 第2回目1/15(火)
専門高校入試(B工業科)(第1回)		11/1(木)~11/8(木)		11/24(土)	第1回目12/7(金) 第2回目1/15(火)
専門高校入試(B工業科)(第2回)		11/26(月)~12/8(土)	12/15(土)	12/22(土)	1/15(火)
AO入試(第1期)	7/2(月)~8/4(土)	9/1(土)~9/11(火)	2/2(土) 全学科 2/3(日) 全学科 2/4(月) 全学科 受験日自由選択制	9/22(土)	第1回目10/2(火) 第2回目1/15(火)
AO入試(第2期)	8/18(土)~9/16(日)	10/1(月)~10/10(水)		10/20(土)	第1回目10/31(水) 第2回目1/15(火)
AO入試(第3期)	10/5(金)~11/22(木)	12/5(水)~12/12(水)		12/22(土)	1/15(火)
AO入試(第4期)	1/15(火)~3/5(水)	3/1(土)~3/14(金)		3/21(金)	3/28(金)
一般入試		1/7(月)~1/26(土)	2/2(土) 全学科 2/3(日) 全学科 2/4(月) 全学科 受験日自由選択制	2/9(土)	2/18(月)
(センター利用入試A)		1/7(月)~2/2(土)		2/9(土)	2/18(月)
(センター利用入試B)		2/18(月)~3/12(水)		3/21(金)	3/28(金)

■学内見学一覧(入試室)

オープンキャンパス以外にも、本学は随時見学を受け入れている。7月迄に受け入れた学内見学は下表の通りである。

No.	月 日	対象	学校名	参加者	No.	月 日	対象	学校名	参加者
1	5月8日	1年生	茨城県立土浦工業高等学校	40名	7	6月26日	1年生	日本工業大学付属東京工業高等学校	229名
2	5月24日	3年生	埼玉県立浦和工業高等学校	32名	8	6月27日	1年生	日本工業大学付属東京工業高等学校	209名
3	5月24日	3年生	千葉県立市川工業高等学校	5名	9	6月30日	2・3年生、保護者	安田学園高等学校	17名
4	6月1日	3年生	群馬県立桐生工業高等学校	41名	10	7月11日	3年生	東京都立蔵前工業高等学校	69名
5	6月7日	1・2・3年生、保護者	埼玉県立春日部工業高等学校	106名	11	7月13日	2年生	東京都立足立西高等学校	6名
6	6月16日	2・3年生	埼玉県立越谷総合技術高等学校	23名	12	7月23日	1年生、保護者	日本工業大学付属中学校	150名

高校生のみなさんへ オープンキャンパスのお知らせ

オープンキャンパス

2007 9/16(日) 開始時間 11:00

大学・学科紹介、学内施設公開、研究室ツアー、体験学習、入試説明、AO入試相談会、個別相談会、入試資料進呈、学食ランチ試食会(ほか)

ミニオープンキャンパス

2007 10/6(土)「自分にあった入試を選ぼう」

2008 3/22(土)「大学ってどんなところか知ろう」

●学科・概要紹介、体験授業、研究室紹介、個別相談会(ほか)
●保護者のための説明会、入試資料進呈、入試相談会、学食ランチ試食会(ほか)

お問い合わせ・お申込み先・・・日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
TEL: 0480-33-7676 ☎0120-250-267 FAX: 0480-33-7678
e-mail: nyu-shi@nit.ac.jp http://www.nit.ac.jp

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集!

(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

*機械工学専攻 *電気工学専攻 *建築学専攻
*システム工学専攻 *情報工学専攻

■平成20年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日 程			
	受付期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成19年9月27日~10月4日	10月11日	10月19日	平成20年1月25日
二次募集	平成20年2月14日~21日	2月28日	3月5日	平成20年3月14日

お問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

学生自治会主催の

主な学生行事

7月7日、学生自治会が主催するボート大会が開催された。数ある学生自治会主催の行事の中でも人気の高い行事の一つで、今年も募集してから2週間足らずで受付終了となった。当日は、18時30分からビッグホール杉戸で34レーンすべてを貸し切って行われた。学生たちは、7月31日か

校の代表者を招き、浙江省国際民間科技交流センターを仲介とする留学生受入れに関する協定書調印式が行われた。この協定は、日工大に留学生として同校卒業生を積極的に受入れ教育すること、日中の国際交流に寄与することを目的としたものである。留学生受入れに関し、今後も他の高校などと協定を締結すべく準備が進められている。



浙江省国際民間科技交流センターと協定締結

8月4日(土)、本学において中国の衢州中等專業学

ら9月22日までの約2ヶ月間の夏季休業となる。その間には、夏合宿を行うクラブ団体も多い。運動を取りまわっている体育会では、1年生を対象に普段のクラブ活動では体験できない、他のクラブとの交流を図るためフレッシュマンキャンプを計画。赤倉山荘で8月3日から5日まで、2泊3日の日程で実施した。一方、文化系クラブを取りまわっている文化団体連合会でも、は、「balloon」と

1年生を対象にフレッシュマンキャンプを実施。こちらは、国立磐梯青少年交流の家で8月31日から9月2日まで2泊3日の日程で行われた。毎年、普段は交流を持ちづらい部活間の親睦を図ることを目的として実施されている。第39回若杉祭は、11月2日から4日までの3日間行われる。今回のテーマは、「balloon」と。美男子コンテストは、今年も行う予定だ。みなさんに、ぜひ参加して

電気学会から森田教授、西村教授に

優秀技術活動賞



超高压研究センター長 電気電子工学科教授 森田登 教授 西村誠介

電気学会は、わが国の電気工学発展のために明治21年榎本武揚を初代会長として創立されたもので、現在の活動は、技術標準（規格）の制定・改定、変化する工業技術の現状調査と将来展望のまとめ、研究開発の推進を3本柱としている。

森田教授の受賞は工業技術の現状調査と将来展望のまとめに關して与えられたもので、学会内約300の委員会の中から、同教授が委員長を務めた大形直流モーターの委員会他6つの委員会が、その技術活動を評価され、受賞に結びついた。

技術活動評価は、委員会

が作成・発行した技術報告書の当該技術分野への貢献度によって判定する。同教授の場合、わが国の自動車の産業を支えるスチール鋼板の品質を決定する圧延用モーターの大半が現在老朽化していることから、モーターの寿命診断と延命化の技術を集大成したところ、関係する多くの現場技術者に評価されたもの。

同教授の活動する委員会は、製鉄会社電気設備技術者、電機メーカーのモーター設計者および大学人から構成されているが、同教授は、絶縁寿命の診断技術と老朽化した絶縁システムの延命

山下真一君が、海洋音響学会で

優秀論文発表賞を受賞



山下真一君と指導の神力教授

今回の受賞は、水中音源の新しい信号方式とその特性を明らかにした点が認められたものである。

当研究発表会は、5月24日・25日の2日間、東京工業大学の百年記念館で開催され、山下君は、「幅広巡回2値符号系列の特性」と題した論文を約70人の専門家の前で発表した。「優秀論文発表賞」は学生および若手研究者（35歳以下）に贈ら

同教授は、前横浜国立大学教授で、本年4月に本学超高压研究センター長に就任した。主な研究分野は、電力系統外部絶縁、電線・ケーブルや各種電気設備の絶縁とその評価法である。

今回の受賞は、水中音源の新しい信号方式とその特性を明らかにした点が認められたものである。

当研究発表会は、5月24日・25日の2日間、東京工業大学の百年記念館で開催され、山下君は、「幅広巡回2値符号系列の特性」と題した論文を約70人の専門家の前で発表した。「優秀論文発表賞」は学生および若手研究者（35歳以下）に贈ら

今回の受賞は、水中音源の新しい信号方式とその特性を明らかにした点が認められたものである。

当研究発表会は、5月24日・25日の2日間、東京工業大学の百年記念館で開催され、山下君は、「幅広巡回2値符号系列の特性」と題した論文を約70人の専門家の前で発表した。「優秀論文発表賞」は学生および若手研究者（35歳以下）に贈ら

今回の受賞は、水中音源の新しい信号方式とその特性を明らかにした点が認められたものである。

当研究発表会は、5月24日・25日の2日間、東京工業大学の百年記念館で開催され、山下君は、「幅広巡回2値符号系列の特性」と題した論文を約70人の専門家の前で発表した。「優秀論文発表賞」は学生および若手研究者（35歳以下）に贈ら

今回の受賞は、水中音源の新しい信号方式とその特性を明らかにした点が認められたものである。

当研究発表会は、5月24日・25日の2日間、東京工業大学の百年記念館で開催され、山下君は、「幅広巡回2値符号系列の特性」と題した論文を約70人の専門家の前で発表した。「優秀論文発表賞」は学生および若手研究者（35歳以下）に贈ら

今回の受賞は、水中音源の新しい信号方式とその特性を明らかにした点が認められたものである。

当研究発表会は、5月24日・25日の2日間、東京工業大学の百年記念館で開催され、山下君は、「幅広巡回2値符号系列の特性」と題した論文を約70人の専門家の前で発表した。「優秀論文発表賞」は学生および若手研究者（35歳以下）に贈ら

今回の受賞は、水中音源の新しい信号方式とその特性を明らかにした点が認められたものである。

当研究発表会は、5月24日・25日の2日間、東京工業大学の百年記念館で開催され、山下君は、「幅広巡回2値符号系列の特性」と題した論文を約70人の専門家の前で発表した。「優秀論文発表賞」は学生および若手研究者（35歳以下）に贈ら

高大連携プロジェクト進捗状況



高校生ものづくりコンテスト

大学教育あるいは高校教育を有している。日本工業大学の建学理念を考えると、授業の発展的な内容を通じて、大学と工業高校の関係は強い。また、本学の教育理念に賛同する普通高校へ門戸を開放することも重要である。そこで本学は、関東近県の高等学校と連携し、「高大連携教育の実施に係わる協定」を結び、年間を通じて「出前授業」の「ものづくり教室」などを実施している。

現在までに協定書を交わした高等学校51校は次の通りであり、今後も連携校を拡げていく方針である。

●東京都 9校
足立工業高校、荒川工業高校、蔵前工業高校、杉並工業高校、総合工科高校、橘高校、安田学園、日本工業

茨城県 13校
水戸工業高校、下館工業高校、勝田工業高校、総和工業高校、つくば工科高校、高萩工業高校、玉造工業高校、日立工業高校、大宮工業高校、波崎高校、江戸崎総合高校、常陸大宮高校、取手第一高校

●栃木県 3校
宇都宮工業高校、栃木工業

群馬県 5校
高崎工業高校、前橋工業高校、太田工業高校、館林工業高校、桐生工業高校

●千葉県 8校
千葉工業高校、市川工業高校、東総工業高校、茂原樟陽高校、京葉工業高校、館山工業高校、下総工業高校、清水高校

●長野県 3校
岩村田高校、箕輪工業高校、上田千曲高校

●福島県 3校
福島工業高校、勿来工業高校、会津工業高校

（工業教育研究所 高大連携プロジェクト室）

近事片々

皆さん、こんにちは。
私の学生生活はあつという間に終わってしまったのですが、皆さんは、良い学生生活を送っていますか。

私はアフリカの西海岸で、フランスの植民地であったコートジボワールから来ました。日本に来て、他の留学生と同じく日本語を学んで、日本工業大学工学部に入學し、今年の三月まで菅原和士教授の研究室に所属しました。研究をすることが楽しくて、大学院に進学しましたが、研究レベルが高く、苦労したという思いが強いです。私の研究は地球環境問題とエネルギー問題を解決する一つの方法である燃料電池の実用化に關して、固体高分子型燃料電池の作製とその評価をすることです。

先輩だより



グローバル化の時代

Egni Hugues Herman
(エニ ウグエマン)
国籍・コートジボワール
大学院工学研究科電気工学専攻修了
(平成19年3月)
三桜工業(株) 技術開発部

ていない単語が入っているからです。「今まで学んだ日本語より、もっと難しい日本語があるのだ」と感じました。

仕事では、分からないことや製品開発中のトラブルが山ほど発生します。

を支える製品から自動車の安全性に關する製品の開発および製造を行っています。そして、私は三桜工業株式会社の技術開発部に配属され、自動車の二酸化炭素排出低減と良い燃費に必要な車輛配

「第3回本学卒業の現職教員の集い」開催ご案内



シャンソンコンサートで朝倉まみ氏と歌う「Hand in Hand」(昨年の様子)

そこで、本学卒業の現職教員の皆さんの研修の一助にと、「第3回日本工業大学卒業現職教員の集い」を企画しました。全国の同窓の教員が集まり、各地区・学校の教育課題について意見交換を図り、交流を深めたいと考えています。どうぞ奮ってご参加ください。

- 日時 平成19年12月1日(土)午後2時～7時
 - 場所 東京ガーデンバレス(お茶の水) 〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5 JR・東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 徒歩5分 無料
 - 参加費
 - プログラム
 - 主催
 - 後援
 - 参加申込
- 研究協議会・研究発表
東京都大田区立大森第二中学校 濱川一彦氏
昭和第一学園高等学校 田辺登氏
- 講演会 「元氣を出せ中小企業」
講師 政策研究大学院大学 教授 橋本久義氏
- シャンソンコンサート
シャンソン歌手 パトリクヌジェ氏・朝倉まみ氏
本学手話サークル「Hand in Hand」
- 懇親会
本学ジャズバンドサークル「Bark Jazz Passion」
日本工業大学卒業現職教員の集い実行委員会
本学 工業教育研究所・教職教育センター
☎ 0480-33-7737 FAX 0480-33-7744
E-mail akih@nit.ac.jp
住所、氏名、卒業年度・学科、勤務先学校をご記入の上、FAX 又はメールにてお申し込みください。

出前授業実施状況 4月～7月

実施日	実施高校	題目	実施日	実施高校	題目
1 4/27(金)	昭和第一学園	ドラえもんの夢一身の回りのやさしい科学ー	14 7/ 7(土)	日本工業大学附属東京工業高等学校	新しい機械エネルギー超音波のふしぎー
2 5/ 1(火)	茨城県立つくば工科高等学校	田園計画へのプロローグ	15 7/ 7(土)	日本工業大学附属東京工業高等学校	超微細な物作り技術を使った製品VS私達の能力
3 5/12(土)	埼玉県立越谷総合技術高等学校	かけ引きの科学	16 7/ 7(土)	日本工業大学附属東京工業高等学校	空間を分ける/つなげる(建物の空間構成を考える)
4 5/12(土)	埼玉県立越谷総合技術高等学校	新しい機械エネルギー超音波のふしぎー	17 7/ 7(土)	日本工業大学附属東京工業高等学校	車の安全を“チーム”として考えよう
5 5/17(木)	茨城県立土浦工業高等学校	自動車エンジンの作り方	18 7/ 7(土)	日本工業大学附属東京工業高等学校	コンピュータと人が仲良くする技術のお話
6 5/31(木)	長野県箕輪工業高等学校	進路ガイダンス	19 7/10(火)	東京都立練馬工業高等学校	音声の聴覚と機能について
7 6/ 2(土)	杉並学院中学高等学校	挑戦!次世代ロボット	20 7/12(木)	東京都立荒川工業高等学校	新幹線を支える新しいトロッコ線
8 6/19(火)	埼玉県立幸手高等学校	コンピュータグラフィックスのしくみ	21 7/17(火)	東京都立荒川工業高等学校	「赤い光・青い光ー半導体の魅力」
9 6/19(火)	茨城県立つくば工科高等学校	放送技術の進歩ー過去・現在そして未来へー	22 7/20(金)	新潟県立新潟工業高等学校	異文化を解き明かすー住まいの見聞録/教養としての建築ー
10 6/20(水)	埼玉県立白岡高等学校	コンピュータと人が仲良くする技術のお話	23 7/26(木)	山形県立寒河江工業高等学校	3次元CADを学ぶ
11 6/25(月)	千葉県立清水高等学校	風車で作るクリーンエネルギー	24 7/31(火)	秋田県立横手青陵学院高等学校	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
12 6/28(木)	埼玉県立草加高等学校	音声生成の物理学とシミュレーション			
13 7/ 6(金)	群馬県立前橋工業高等学校	挑戦! 次世代ロボット			

卒業後30年、20年、10年の皆様

11/3 第8回 ホームカミングデーにどうぞ!



抽選会で賞品を受けとるOB（昨年の様子）

ホームカミングデーが、若杉祭2日目の11月3日（土）に開催される。卒業後10年毎の節目の皆さんにお集まりいただくこの企画も今年で8回目。当日は、10時30分から受付、11時から博物館・各センターを中心とした学内見学ツアー、15時から、懇親パーティを行う。大好評の抽選会では盛り沢山の景品を用意。ご家族連れでの参加も歓迎している。是非とも皆さまお声を掛け合って、旧友や現旧教職員と楽しいひと時を過ごしていただきたい。

（ホームカミングデー実行委員会）



パーティの前に参加者全員で記念撮影（昨年の様子）

第11回 スターリングテクノロジー

11/17(土) 今年も本学で開催



スターリングテクノロジー開催（昨年の様子）

第11回スターリングテクノロジーが11月17日（土）に開催される。本競技は、低公害で熱効率の高い自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競うもので、人間乗車クラス、宙返り耐久ミニクラス、ヤングクラス、RC（無線操縦）クラス、クーラクラスなど7つの種目がある。昨年は高校生を中心に、小学生から社会人まで全国から219台が参加し、秋晴れの中、熱戦が繰り広げられた。今年も多く参加が期待される。

喫煙ルール・マナー遵守にご協力を!

完全分煙が実施されて、5ヶ月が経過した。館内での喫煙は完全になくなったように見受けられる。しかし、館外の喫煙については、歩行中の喫煙やタバコのポイ捨てなどが依然として目立っている。喫煙ルールやマナーを守って気持ち良く生活したいものである。そのためには、学生諸君一人ひとりが、喫煙ルールとマナーを守ると同時に、職員が喫煙ルールやマナー違反している学生を見かけた際、注意と指導をお願いしたい。

（学生支援課）



工友会総会開催

7月14日（土）の工友会評議員会に引き続き、翌15日（日）に工友会総会が本学学友会館ホールにて開催された。4月15日（日）に開催された臨時総会後の初めての総会ということもあり、台風4号が関東地方に接近するという悪条件にも係わらず、約40名の会員の参加があり、活発な討論が行われた。

総会では、渡辺治雄前工友会会長から上程された会長経験者4名の新役員が承認された。この役員と10名の理事候補で構成する役員会は、会長 長谷澤功、副会長 高橋康一・藤田公雄が就任し、一年間をかけて会則の見直しなど、工友会の第二世紀に向けての運営、新体制の構築を行っていく予定である。



「2daysチャレンジ」

7月5日（木）・6日（金）の2日間にわたり、宮代町立須賀中学校2年生の女子生徒4名が、社会体験学習「2daysチャレンジ」の一環として、昨年に続き本学のチューデントセンター食堂で体験学習を行った。これは「生徒1人ひとりが働くことの尊さを知ると共に、自らの進路について

も更に深く学びとることができるよう」との目的をもって、須賀中学校では積極的に取組んでいるものであり、派遣事業所の一つとして本学の食堂が指定されたの実施であった。サビスセンター職員とともに朝礼からスタート。大量の皿洗い、ご飯盛り、配膳等、不安と緊張を抱きながら



5月26日（土）、高崎ジュホテルにおいて、「群馬県支部創立30周年記念祝賀会」が挙行された。会には川島後援会長、柳澤学長、林総務課長も参加し記念すべき三十周年を支部会員の皆様と共に祝った。同支部は昭和51年8月29日に設立。以来、30年間、支部長をはじめとする役員の皆様には並々ならぬご苦労があったと思われる。幾多の困難を乗り越えて支部

後援会だより——群馬県支部30周年祝と「地懇」——

活動の継続にご尽力いただいたことに対し心より感謝と御礼を申し上げます。また、支部から大学に対し、記念品として「時計」の目録と七宝焼の「レリーフ」が贈呈された。群馬県支部の益々の発展と会員の皆様のご健勝をお祈りする。現在、全国23会場で後援会主催による「地域別教育懇談会」を開催中である。日程は別表の通り。参加いただいたご父母の皆様には、ご子息・ご子女の成績表をもとに教員と個別面談を行っている。どんなことでもご相談いただけるので、是非とも積極的にご参加いただきたいと思う。

日本画像学会功労賞を受賞



システム工学科 教授 星野 坦之

システム工学科の星野坦之教授が、日本画像学会功労賞を受賞した。20年にわたる理事としての学会活動が評価されたものである。

現在、日本製のプリンタは世界市場の中でかなり大きなシェアを占め、重要な輸出製品のひとつとなっている。同学会は、前身の日本電子写真学会の頃から、我が国の複写機、プリンタ技術の牽引役を担ってきた。同教授は、プリンタの記録や画像処理技術における先端的な研究者として学会で活動するとともに、理事のほか、さまざまな役職を務め、同学会の活動に貢献してきた。

平成19年度地域別教育懇談会開催日程（予定）

開催日	主催	開催都市	開催会場	対象地域
9月 1日（土）	福島県	郡山市	清稜山倶楽部	福島県
〃	蔵王	山形市	オーヌマホテル	山形県・宮城県
9月 2日（日）	群馬県	前橋市	マーキュリーホテル	群馬県
〃	近畿	尼崎市	ホップインアミング	大阪府・兵庫県・京都府 奈良県・和歌山県・滋賀県
〃	千葉県	千葉市	ブラザ菜の花	千葉県
〃	栃木県	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県
9月 8日（土）	北陸	金沢市	金沢都ホテル	富山県・石川県・福井県
〃	秋田県	秋田市	協働大町ビル	秋田県
9月 9日（日）	山梨県	春日井町	ホテル春日居	山梨県
〃	東中国	津山市	津山国際ホテル	岡山県・鳥取県
〃	西中国	岩国市	岩国国際観光ホテル	広島県・山口県・島根県
〃	岩手県	盛岡市	南部会館サザンパレス	岩手県
〃	茨城県	水戸市	京成ホテル	茨城県
9月15日（土）	青森県	青森市	青森国際ホテル	青森県
〃	沖縄県	那覇市	琉球サンロイヤルホテル	沖縄県
9月16日（日）	新潟県	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県
〃	静岡県	静岡市	清水テルサ	静岡県
〃	東海	名古屋市	中京大学文化市民会館	愛知県・岐阜県・三重県
〃	長野県	長野市	ホテル信濃路	長野県
9月23日（日）	本部（北海道）	札幌市	ホテルサンルート札幌	北海道
〃	本部（九州）	博多市	サンライフホテル1	九州
9月24日（月・祝）	本部（四国）	高知市	ホテルサンルート高知	四国
9月30日（日）	本部（近県）	宮代町	大学キャンパス	東京都・埼玉県・神奈川県

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がある。詳しいご案内は各支部（支部のない地域は本部）より各会員宅に郵送されるので、ご確認ください。

人事異動

【任用】（9月1日付）
◆大島 康彰教授（機械工学科）昭和55年2月2日生まれ。昭和55年3月千葉大学大学院工学研究科修士課程工業意匠学専攻修了。前北海道情報大学学教授。
【退職】（4月30日付）
◆原田隆事務職員（総務部総務課）
（6月30日付）
◆渡辺高幸准教授（機械工学科）
（8月31日付）
◆杉本賢広事務職員（教務部入試等）
【国外出張（7月～8月）】
◆古閑伸裕教授（機械工学科）／出張先Ⅱ台湾（7／27～30）／目的Ⅱ平成19年度留学フェア（台湾）における留学生受け入れという点で、大きなメリットである。実際に星野研究室を覗いてみると、多くの留学生が、熱心に研究に取り組んでいる姿を見ることができた。

編集後記

▼6月29日は、学園創立百周年を記念する式典および祝賀会を大勢の来賓をお招きして、無事終了できた。同慶の至りである。この日を学園第二世紀への新たな出発の日として位置づけ、今後とも工学教育の理想を求めて邁進したい。
▼カリフォルニア大学の中村修二氏による講演会が6月30日にあり「青色発光ダイオード開発秘話」をテーマに熱く語っていただいた。主催は本学卒業生で組織する「工友会」で、同じく学園創立百周年を記念したものであった。学生はもとより、地域住民約500名が参加した。兄上が本学のOBである同氏はわざわざアメリカでの日程を調整して実現してくださったもので、開催に尽力した「工友会」には大学として多に感謝したい。（F）